

音響芸術科

音楽基礎 1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	稗島			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				

授業概要

音楽制作に携わる人として必要な音楽基礎知識、音楽理論、音楽に関する文化、音に関する知識を学習する。まず音楽制作の現場で音楽上でのコミュニケーションを円滑に進めるためには、楽譜が読めることは基本となる。音やリズム、楽譜に関する知識、用語、理論を身につける。そして知識を覚えるだけでなく、「音」というものの性質を学び活用、応用できるようになることや、幅広い対応ができるスキルを身につけることを目的とする。

到達目標

音響の仕事についていた時、そしてその採用試験対策として必要な音楽のコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面の構成の仕方、音符休符の種類、リズムの表記法、音名を理解し、それらを読むことができること。音楽用語、標語、記号を覚えて書くことができ、活用できるようになること。音楽ジャンルとその特徴や歴史的背景を知ることを目的とする。

授業方法

この授業は、理論を覚えるだけでなく音楽への見識を広く得るために、音楽ジャンル分析や研究、画像で楽器の形を見たりその音を聞いたりし、その名前、性質や歴史などを学習する回を設ける。いろんな音に対する探究心を持つように進める。それらのレポートを提出することもある。

成績評価方法

期末試験 80%・他 20% は課題・レポート・ミニテストを総合的に評価する。

履修上の注意

キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。必ず筆記用具、ノート、五線譜を用意すること。授業で使用したプリントやノートはいつでも振り返って確認できるように学んだ順にファイルして毎回の授業で持ってくること。

教科書教材

適時プリントを配布する。

回数	授業計画
第 1 回	音楽知識確認テスト
第 2 回	音符、休符の種類、書き方
第 3 回	拍子とリズム

第 4 回	シンコペーション（切分法）を含んだリズム
第 5 回	3連符を含むリズム
第 6 回	小テスト
第 7 回	速度に関する表記、記号、標語
第 8 回	記譜法（1）楽器研究
第 9 回	記譜法（2）楽器研究
第 10 回	記譜法の小テスト 楽器研究
第 11 回	音程（1） 楽器研究
第 12 回	音程（2） 楽器研究
第 13 回	音程（3） 楽器研究
第 14 回	音程小テスト 楽器研究
第 15 回	前期まとめ